



南の目指す生涯学習社会

～みんなが元気に みんなが幸せに～

これからの学校づくりと地域づくり

～地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的な推進～

11月21日（月）、浅舞公民館において「第2回地域学校協働活動推進員・地域連携担当教職員等研修会」を開催しました。地域と学校、それぞれの立場で、未来を担う子どもたちの成長を支えるべく日々忙しく過ごされている、88名の皆さんが参加しました。

◆「パネルディスカッション」の要旨

◇オリエンテーション 南教育事務所 小笠原重夫 社会教育アドバイザー

- ・学校運営協議会は、あくまでも「学校運営」と「学校運営に必要な支援」に関する協議を行う場。しかし、学校と地域が連携することを協議する場と誤解されがち。このことは陥りやすいミスとして留意する必要がある。
- ・学校運営協議会では、委員個人の意見が尊重されるのではなく、「合議体」の意見とする必要がある。しかし、その定着はまだ十分ではない。合議体という点が学校評議員制度と異なる点である。
- ・地域学校協働活動には、①学校が地域から支援をいただく〈学校支援〉、②学校も地域に対して応分の貢献をする、③学校と地域が、それぞれ足りないものを補い合いながらWin-Winの関係になるの3段階がある。協働の本質は、③の段階。学校は、自校の地域との連携・協働の取組が、どの段階にあるのか見極めることが重要となる。

◇実践紹介① 「地域とともにある学校を目指して」横手市立増田中学校 教頭 長崎 晋 氏

- ・学校運営協議会において、「増田をよく知り、愛し、誇りに思い引き継ぐ生徒」「基幹産業である農業に興味のある生徒」を育てたい生徒の姿として、学校と地域で共有した。
- ・「総合的な学習の時間」を核として「地域づくり」に積極的に関わった。地域コーディネーター等と連携し、「増田『蔵の日』ボランティア活動」を実施した。地域と目標を共有し、協働で生徒の育成にあたることができた。



◇実践紹介② 「皆瀬小・中学校の地域学校協働活動」

湯沢市皆瀬地域学校協働本部 地域学校協働活動推進員 高橋文子 氏

- ・「コミュニティ・カレンダー」を作成したことで、住民が学校で子どもたちが何をやっているかを「見える化」することができ、地域住民のボランティア活動への参加に生かされている。
- ・自治組織の「紅葉まつり」に「皆瀬小学習発表会」と「皆中祭」を組み入れ、地域の協働イベントを初めて実施した。
- ・「フワッとしたつながり」をもって地域一丸で子どもたちを見守っている。



～裏面へ続く～

◆その後はグループ協議で、活発な意見交換・情報交換が行われました。



◆参加者の感想

- ・学校運営協議会で特に陥りやすいミスや誤解について、自分自身の勉強不足もあり大変参考になりました。気を付けていきたいと思います。
- ・具体的な実践例は、私たちの地域学校協働本部でもできそうな気がしました。このあとの学校運営協議会に生かしていきたいと思います。
- ・今まで市内だけの情報しか得ていなかったなので、他市町村の方との情報交換は大変参考になりました。

参加者の皆さんは、コミュニティ・スクールの趣旨は何か？地域学校協働活動の本質とは何か？一体的な推進とは何か？ということについて、頭の中を整理し、これからの実践のヒントをつかむことができたようです。

◆南教育事務所社会教育班では、「地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的な推進」の実現に向けて、今後も研修の場を設け、支援させていただきます。

◆校内研修や校長会・教頭会の研修会等の機会に…

あきた県庁出前講座No.163

「地域学校協働活動とコミュニティ・スクールについて」

を御活用ください。個別の御相談にも応じます。どうぞ、お気軽にお電話ください。

◇こちらもオススメ!～親子での学習会や保護者・教職員の研修に!

あきた県庁出前講座No.166

「インターネットの健全利用について」



受賞、おめでとうございます

第75回優良公民館表彰 大仙市立南外公民館

「地域をつなぎ、人づくりを推進する公民館」

「地域の活性化に寄与できる子どもの育成」の実現を目指して行っている「なんがいの味・食育交流事業」。地域理解や地域への愛着心を醸成したいという学校側の願いと、基幹産業である農業の担い手育成につなげたいという地域側の願いをマッチさせた取組で、双方がWin-Winの関係である点が評価されました。



令和4年度優良PTA文部科学大臣表彰 湯沢市立山田小学校PTA

学校教育目標について、保護者と教職員の間で共通理解を図り、連携協力しながら活動しています。山田地区の子どもに付けたい力「やまだスタンダード」を、学校とともに見直して活用している点や、地域の見守り隊と連携した街頭指導や危険箇所の点検、地区運動会や学校のスキー教室への協力、PTA会報「どじょっばら」の発行等の活動が評価されました。

